



Seeds-Hub・CyTOF® ウェビナー

ウェビナー開催日時

2025年1月30日(木)

午後 2:00 – 3:00

ご登録



<https://bit.ly/3ADf2Hx>

Abstract

免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) による免疫関連有害事象 (irAE) の症例が増加しているが、その発症予測因子や適切な治療法は未だ解明されていない。我々は ICI 誘導性関節炎患者の血液サンプルを収集し、マスマイトメトリーを含む multimodality 解析により免疫フェノタイプの分類を試みた。血液試料の結果と臨床的特徴を関連付けて irAE の免疫学的な実態を解明することによって、ひいてはリウマチ性疾患の病態理解・治療開発にも繋がり得ると考える。

Message

CyTOF 技術は日進月歩で向上しており、より高精度かつハイパラメーターでのシングルセルタンパク質解析が簡便に行えるようになってきました。本ウェビナーは京都大学と共催で実施しますが、座長の京都大学「医学領域」産学連携推進機構の鈴木特定教授からは、CyTOF 技術に関する情報やノウハウも掲載している「Seeds-Hub」についてご紹介をいただきます。

Guest Speaker



免疫関連有害事象 (irAE) 症例の multimodality 解析 - リウマチ性疾患の病態解明へ

京都大学大学院医学研究科附属
がん免疫総合研究センター
がん免疫治療臨床免疫学部門
特定准教授 村上 孝作 先生

Moderator



京都大学成長戦略本部統括事業部
京都大学大学院医学研究科
「医学領域」産学連携推進機構
特定教授 鈴木 忍 先生

Questions?
Please contact:
japan-marketing@standardbio.com
スタンダード・バイオツールズ株式会社